



新潟大学

東北がんプロフェッショナル養成推進プラン 平成24年度活動・実績報告

新潟大学 がんプロ H24年度 事業計画

- ① 社会人大学院生を対象とした、大学院教育システムとe-learningシステム整備を図ることにより、附属病院およびがん診療拠点病院で研修・勤務中の医師における教育機会の充実を図り、より効果的で実践的な大学院教育の実践を行うよう整える。
- ② 放射線腫瘍医・博士課程（大学院医歯学総合研究科）および博士前期課程・医学物理コース（大学院保健学研究科）を開講し、人材の育成を開始する。医学物コース受講ガイダンス実施。
- ③ 本事業への円滑な推進を図るため、事務補佐員2名を雇用する。
- ④ 初期・後期研修医に対する東北がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン説明を研修病院およびがん拠点病院で開催し、概要の周知を図り、また要望を聞く。
- ⑤ 医学物理室設置のための調査および医学物理士公募を行い、医学物理室開設への準備を開始する。
- ⑥ E-learningクラウドシステムを導入整備し、医学物理教育コンテンツ開発準備を開始する。本学における医学物理士養成の質の向上を図る。
- ⑦ 遠隔授業システムの拡充整備を行い、旭町キャンパスと五十嵐キャンパス間で遠隔授業実施のための調査

新潟大学 がんプロ H24年度 事業計画

- ⑧ 緩和医療学分野開設および担当教員選考を行い、緩和医療学の教育体制の整備を図る。
- ⑨ 医学物理室設置を設置し、放射線腫瘍科医の教育の充実を図ると共に、医学物理士養成コースの教育の場を提供する。
- ⑩ 新潟県内がん診療拠点病院との協議会開催（がんプロコースの教育連携および拠点病院勤務医療人に対する生涯教育）し、東北がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの協力を要請すると共に、新潟県におけるがん医療人養成の体制について協議する。
- ⑪ 連携大学との共催で、医学生・前期研修医のための放射線治療セミナー合宿を開催し、放射線治療について理解を深めると共に、本取組への参加を促す。
- ⑫ 連携大学との共催または単独で、医学生・前期研修医のためのがん薬物療法セミナー合宿を開催し、がん薬物療法への理解を深めると共に、本取組への参加を促す。
- ⑬ がん薬物療法・がん緩和ケア生涯教育セミナー開催を新潟大学附属病院で実施し、生涯教育を通してがん診療の質の向上を図る。
- ⑭ 医学物理レジデントプログラム実施に向けた調査及び調整会議を行い、レジデントコース開設に向けた準備

大学院教育

コース名	修業年限	H24年度 入学実績	H25年度～ 募集人員
がん薬物療法医養成コース(がん教育改革)	4年	— (H25年度開講)	2名
放射線腫瘍医養成コース	4年	1名	2名
がん薬物療法医養成コース(地域腫瘍内科医)	4年	— (H25年度開講)	3名
がん専門医養成コース(地域腫瘍外科医)	4年	— (H25年度開講)	2名
がん緩和医療医養成コース(地域緩和医療医)	4年	— (H25年度開講)	2名
博士前期課程・医学物理士養成コース	2年	2名	2名
博士後期課程・医学物理コース	3年	— (H26年度開講)	1名
がん薬物療法医養成コース(インテンシブ)	6ヶ月	— (H25年度開講)	4年間で5名
医学物理士養成・臨床研修コース(レジデントコース) (インテンシブ)	2年	— (H26年度開講)	3年間で7名

医学物理コース受講 ガイダンス実施

大学院分野別に医学物理コースについて説明

日 時 : H24年4月5日

場 所 : 学内放射線学共同研究室

内 容 : 平成24年度開講の医学物理コースの内容
と受講科目に関する解説

参加人数 : 5名 (平成24年入学者)

大学院生入学

- 放射線腫瘍医養成コース → 1名入学

がん診療連携拠点病院で、臓器横断的ながん放射線治療を実践できる放射線治療専門医を養成する。

- 博士前期課程・医学物理士養成コース → 2名入学

がん診療拠点病院でがんの放射線治療における物理学的精度管理を実践できる修士課程レベルの放射線治療分野医学物理士を養成する。

がんプロの周知

初期・後期研修医に対する東北がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン説明会を研修病院およびがん拠点病院で開催

●H24年9月

新潟県がん診療連携協議会でがんプロの概要について説明

●H24年12月

新潟臨床研修フォーラムで、県内の研修医に、がんプロの概要と大学院生募集について講演

臨床腫瘍学特論 I, II, III

ISTU講義 「臨床腫瘍学特論」 新潟大学講義担当教員						
I	II	III	講義名称	氏名	職位	分野名
	○		腫瘍病理学各論 II	味岡 洋一	教授	分子病態病理学分野
○			がん薬物療法総論 I	西條 康夫	教授	腫瘍内科学分野
○	○		放射線腫瘍学総論 I・放射線治療各論 I	青山 英史	教授	放射線医学分野
○			口腔ケア	勝良 剛詞	講師	歯科放射線科
	○		緩和医療学各論	生駒 美穂	講師	緩和医療学
	○		造血幹細胞移植	増子 正義	助教	高密度無菌治療部
		○	肺がん I	土田 正則	教授	呼吸循環外科学分野
		○	大腸がん II	野上 仁	助教	消化器・一般外科学分野
		○	大腸がん II	亀山 仁史	助教	消化器・一般外科学分野
		○	婦人科がん I	榎本 隆之	教授	産科婦人科学分野
		○	悪性骨腫瘍・悪性軟部腫瘍	生越 章	准教授	整形外科学分野

収録完了 平成25年度ISTU掲載

遠隔授業システム実施準備

遠隔授業システムの拡充整備を行い、旭町キャンパスと五十嵐キャンパス間で遠隔授業実施のための調査

- 遠隔授業のためのWebカメラシステムの講義室取り付けと調整を実施した。
併せて、遠隔授業対象となる、副専攻「医学物理学基礎」副専攻プログラム立上げに向けた副専攻準備委員会会議を開催し検討を行った。
- 副専攻「医学物理学基礎」が、分野別副専攻として新規承認された(H25年1月25日)大学教育委員会

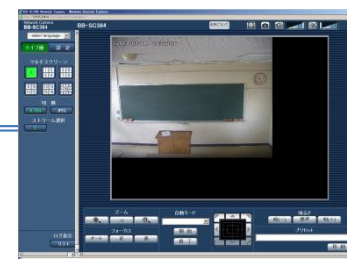
副専攻「医学物理学基礎」遠隔授業システム

- | | |
|----------------|-----------------------|
| N1 理学部棟 | N4 大学院自然科学研究科棟 |
| 理学部 | 大学院自然科学研究科 |
| 理学部同窓会 | 大学院技術経営研究科 |
| | 自然科学系事務部 |

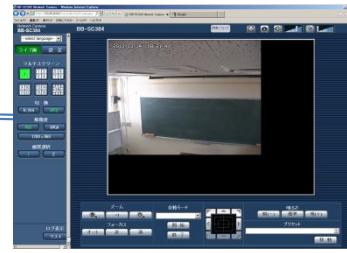



 遠隔授業ネットワークシステム

- | | |
|-----------------|--------------------|
| M1 医学部棟 | M2 医学部保健学科棟 |
| 医学部医学科 | 医学部保健学科 |
| 大学院医歯学総合研究科(医科) | 大学院保健学研究科 |
| 腎研究施設 | 医歯学系事務部(保健学科) |
| | 医学部保健学科同窓会 |



- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 医歯学総合病院(医科) | H5 中央診療棟 |
| H1 外来棟
(H24.12以降解体予定) | H6 東診療棟
(H24.12以降解体予定) |
| H2 外来診療棟 | H7 病棟 |



緩和医療学分野設置

- H24年4月
教授会で緩和医療学分野設置決定
- H24年9月
緩和医療学分野 特任准教授公募
- H24年11月
特任准教授採用 活動開始
- H25年4月
大学院生の受け入れ開始、大学院講義

医学物理室設置

- H24年5月
教授会で医学物理室 設置決定
- H24年6月
放射線医学分野医学物理部門担当特任助教 公募
- H24年8月
医学物理士採択
- H25年1月
特任助教採用 活動開始
医歯学総合病院内に医学物理室設置

新潟県内がん診療拠点病院 協議会開催

●H24年9月

新潟県がん診療拠点病院協議会において、がんプロの概要および大学院生の募集の説明、またがん医療人養成に向けて、がん診療連携病院との協力体制について意見交換した。

がんプロ開催セミナー等（H24年度）

開催日	演 題 ・ 講 師	受講人数
12/14	第1回 がんプロセミナー「外来化学療法実施のこつ:支持療法を中心に」 (弘前大学 石黒敦)	29名
1/17	第2回 がんプロセミナー「WT1ペプチドワクチン開発 最先端かガラパゴスか？」 (国立がん研究センター 平家勇司)	34名
2/5	第1回がんプロ講演会「緩和ケアの本質とは？～スピリチュアルケア、死から生といのちを考える～」 (昭和大学 高宮有介)	108名
2/11	がんプロ市民公開講座「がんの学舎 -まなびや-」 「がんと共に～自分らしく強くたくましく生きる心」(よつばの会代表・タレント 原千晶) 「子宮がんは18歳から90歳代までの病気です」(新潟県立がんセンター新潟病院 児玉省二) 「がんの放射線治療～女性のがんを中心に～」(新潟大学 鮎川文夫)	80名
2/21	第3回 がんプロセミナー「婦人科がんの放射線治療」 (筑波大学 櫻井英幸)	59名
2/22	がんプロ講演会「肺がん病理診断の最近のトピック 一腺がんの新分類を中心に」 (公財がん研究会がん研究所 石川雄一)	27名
3/16	第4回 がんプロセミナー「日本における医学物理レジデント教育の展望」 「筑波大学における医学物理レジデント教育と展望」(筑波大学・教授 榮武二) 「米国における医学物理レジデント教育と日本での将来展望」(広島大学・特任准教授 小澤修一) 「IAEA医学物理レジデントプログラムガイドライン概要とタイでの実施例」(新潟大学・教授 和田真一) 「米国における医学物理レジデント教育と日本での将来展望」(広島大学・特任准教授 小澤修一) 「副専攻「医学物理学基礎」の目差すものと医学物理領域人材育成の展望」(新潟大学・教授 宮田等)	48名 14

がんについてみんなで語り、学ぼう!

がんの学舎

まなびや

【日時】平成25年**2月11日**(月・祝) 13:00~16:00(開場12:30)
 【場所】朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター3階 中会議室(301)

参加費
無料

〈プログラム〉

◆開会の挨拶

西條 康夫

新潟大学医歯学総合研究所
 腫瘍内科学分野-教授
 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン
 新潟大学分科コーディネーター

◆基調講演

「**がんと共に**

~自分らしく強くたくましく生きる心~

原 千晶氏(よつばの会代表・
 女優・タレント)

休憩

がんを
 知ろう!
 1

「**子宮がんは18歳から90歳代までの病気です**
 ~無症状でも検診で早期発見し、安い費用で治る~

新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科 児玉 省二先生

がんを
 知ろう!
 2

「**がんの放射線治療~女性のがんと中心に~**

新潟大学医歯学総合研究所放射線医学分野 鮎川 文夫先生

がんを
 語ろう!

「がんの学舎」対談

「**女性のがんに関して~検診や治療法について~**

対談者: 原 千晶氏、西條 康夫

司会進行: 東村 里恵子氏(フリーアナウンサー)

■主催: 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン(東北大学・山形大学・福島県立医科大学・新潟大学 共同プロジェクト) ■共催: 新潟大学医歯学総合病院腫瘍センター

〈お問合せ先〉

新潟大学がんプロ事務局(医学科事務室総務係)

TEL.025-227-0389 T951-8510 新潟市中央区旭通1番町757
 E-mail: n-ganpro@med.nigata-u.ac.jp FAX.025-368-9006



「日本における医学物理 レジデント教育の展望」

日時：平成25年3月16日(土) 13:30～17:30

場所：新潟大学医学部 東講義棟 3階
第3講義室(定員100名)

対象：医学物理士教育関係者、医学物理士
医師(研修医含む)、放射線技師、看護師、学生等

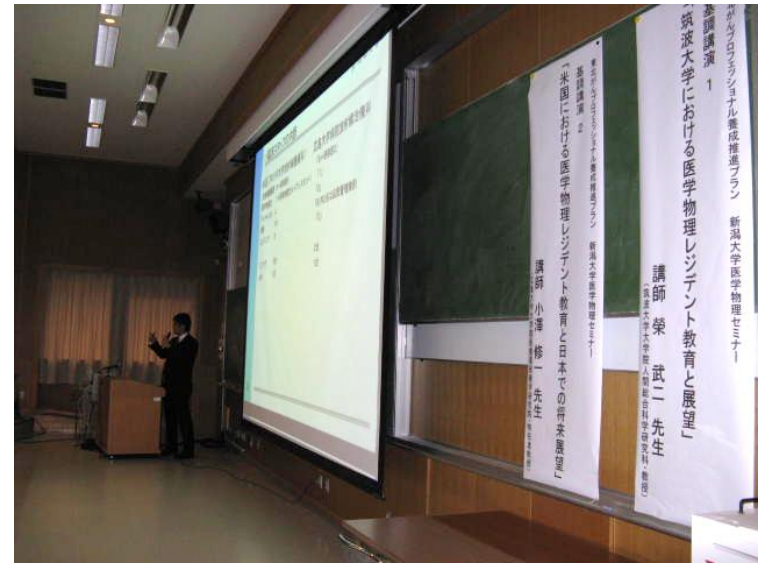
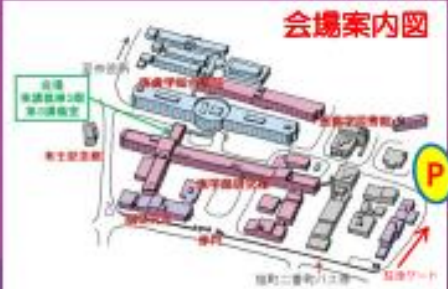
参加費
無料

プログラム

- 開会挨拶[13:30] 青山 英史先生 新潟大学大学院医歯学総合研究科・教授
基調講演1[13:40] 「筑波大学における医学物理レジデント教育と展望」
榮 武二先生 筑波大学大学院人間総合科学研究科・教授
基調講演2[14:40] 「米国における医学物理レジデント教育と日本での
将来展望」
小澤 修一先生 広島大学大学院医歯薬保健学研究科・特任准教授
***** 休 憩(15:40-15:50) *****
報 告1[15:50] 「IAEA医学物理レジデントプログラムガイドライン
概要とタイでの実施例」
和田 真一先生 新潟大学大学院保健学研究科・教授
報 告2[16:20] 「米国ワシントン大学での医学物理レジデント教育と
新潟大学での展望」
宇都宮 悟先生 新潟大学大学院医歯学総合研究科・特任助教
報 告3[16:50] 「副専攻「医学物理学基礎」の目差すものと医学物理
領域人材育成の展望」
宮田 等先生 新潟大学理学部物理学科・教授
開会挨拶[17:20] 和田 真一先生 新潟大学大学院保健学研究科・教授

※ 無料駐車場(地図参照)をご用意しておりますが、台数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関でお越し願います。地図以外の駐車場は料金が発生いたします。ご了承くださいませ。

◆参加申込み/お問合せ先◆
医歯学総合研究科：宇都宮 悟
[Email:sutsuno@med.niigata-u.ac.jp]



医学物理レジデントコース設置準備

- 医学物理レジデントプログラム実施に向けた調査及び調整会議を行い、レジデントコース開設に向けた準備
- 医学物理セミナーにおいて、学外講師2名を招聘し、学内講師3名を加え、医学物理レジデントプログラムの実施について議論した。
- IAEA医学物理レジデントプログラムガイドラインの実施のための調査を行った。ACOMP会議
(H24年12月11-14日)出席とチェンマイ大学病院訪問

まとめ

- H24年度の事業計画に沿って、ほぼ予定通り、実施した。
- 緩和医療学分野および医学物理室を設置し、専任教員を雇用した。
- H24年度放射線腫瘍医コース1名、医学物理士コース2名 入学した。
- 臓器横断的がん診療演習を目的としてH25年1月よりキャンサーボードを開始した。
- 臨床腫瘍学特論の収録を完了した。